

「とんがる」姿勢をあなたは花の色合わせで魅せる？組み合わせで示す？それとも、心意気で表す？

# フローリスト

花を売る  
よろこび、  
花を買う  
たのしさ。

6  
Florist  
2019  
JUN.

2019年5月9日発行 発行所 日本花道協会 発行所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 日本花道協会 5号館 501号室 電話 03-5561-2245 ISSN 0289-7245

とんがれ！  
攻めの  
デザイナー  
個性的な花束・アレンジメントをオーダーメイド





西村和明  
KAZUAKI NISHIMURA

「サンジョルディフラワーズ ザ・デコレーター」のチーフデコレーター。全国の店舗で販売するイベント商品や、季節ごとに展開する店舗ディスプレイのデザインを手がける。

SAINT JORDI FLOWERS THE DECORATOR  
[ サンジョルディフラワーズ ザ・デコレーター ]

Facebook: サンジョルディフラワーズ ザ・デコレーター  
Instagram: @saint\_jordi\_flowers  
Website: https://www.saintjordiflowers.com/  
※品川、恵比寿、大阪、神戸、広島、福岡、長崎に店舗あり。

ask the sharp me  
シャープ・ガイに聞け!

## 時代の先読む提案を。 トレンドを生む デザイン発想法

制作 | 西村和明

常に、新しい感性で時代を導き、流行を生み出している「サンジョルディフラワーズ ザ・デコレーター(以下、SJF)」。なかでも最先端のスタイルを作り出すトレンドリーダーが、西村和明さんだ。SJFが、ニューエイジの担い手であり続ける秘訣は何か。それは、ファッション業界の潮流をいち早くキャッチし、それを季節ごとに「シーズン・トレンド」として、花で表現するなど、新しいコンセプト作りには余念がないからだ。例えば、バリコレなどの最新コレクションから流行りの素材やカラーリングを学び、そこにどんな視点を加えて商品展開していくかをディスカッションすることで、最先端のデザインが生まれている。国内外の情報をリサーチするだけでなく、そこに独自の視点を加えるのがポイントで、西村さんが今回制作した2点にも、固定概念を覆す驚きのコンセプトが詰まっている。そのハードスタイリッシュなデザインには、男性からも多くの共感を得ている。

### flower & green

カトレア、コショウラン、パフィオペディラム、アンズリウム2種、パンクシア、グズマニア、フリチラリア、マリーゴールド

### Materials

流木、ビニールチューブ、ロープ

### point

- ファッション業界の夏のトレンドの一つであるビニール素材の要素を、ビニールチューブで表現。
- 直接的に海を表現するのではなく、乾いた水辺にありそうな流木や、船を想起させるロープなど、副素材同士の組み合わせで連想させる。



### how to make



1 ベース2個(大・小)にフローラルフォームをセットし、流木を挿して固定する。流木を横長に固定するときは、フローラルフォームに深く挿せるよう、流木に長めのビスを打つ(写真下)。



2 ロープ3本の束とチューブ3~4本の束を、それぞれワイヤリングし、流木に絡める。フローラルフォームを2個、流木にワイヤーで固定する。



3 フローラルフォームに花を挿していく。流木に固定した部分だけでなく、ベース本体にセットしたフローラルフォームにも、流木の枝ぶりとバランスを見ながら花を挿せば、完成。



### 固定概念を 覆す“マリン”のイメージ

セレクトショップのオープン祝いに贈るアレンジメント。西村さんがこの夏しかけるトレンドは“マリン”。従来の穏やかな海のイメージでなく、岸壁に打ち寄せる波の飛沫のように、エネルギッシュなコンセプトを持たせている。

葉物で作ったセバレート  
ブーケ

さまざまな形の葉で、花をラッピングしたあとは、さらに大きなバショウの葉で包んで一つのブーケに仕上げる。ホームパーティなどのシーンに持ち込めば、衝撃的なこと間違いなし。大きな姿を楽しんだ後は、セバレートにして食卓の小さな花器に生けても◎。もちろん、複数人に渡すブーケへも転用可。

how  
to  
make

1: 5つのブーケをそれぞれ葉物でラッピングする。高さのあるブーケ(下写真b, d)は、バショウの葉で包む。包みやすいよう、根本の余分な葉をカットし、ホチキスで数カ所留める。

2: 大きめの丸いブーケ(下写真c)は、モンステラを3枚、少しずつずらしながら貼り合わせ、包み込める大きさに使用。背部はリビストニアでカバーする。

3: 小さめの丸いブーケ(下写真a)と、ふんわりと広がるブーケ(同e)は、リビストニアでラッピング。ほかの花材と同じようにステムに入れて握って包む。これで、葉物で包んだブーケ5つが完成。これらを合わせるとP.69のブーケに。

## point

◎5つのブーケを組み合わせ、大きな1つの花束となる。それぞれを似たような大きさ・高さで作ってしまうと、組み合わせたときのフォルムが、ゴロンとしてまとまきれなくなってしまう。

◎野草的な初夏の草花のブーケには、あえてトロピカルなイメージのモンステラを合わせるなど素材感の対比を作る。

flower  
&  
green

a. リビストニア、ニゲラ、ヤグルマソウ、アリウム「ブルーパフェーム」、アリウム・コワニー、バラ、クレマチス、トリフォニウム、ハゴロモジャスミン b. バショウ、リュウココリーネ、フランネルフラワー、パイモユリ、ヤグルマソウ、ライラック、セリンセ、リキュウソウ c. モンステラ、リビストニア、アリウム・シュベルティ、ライラック、バラ、ニゲラ、ヤグルマソウ、トリフォニウム d. バショウ、イキシア、シレネ、エビデンドラム e. リビストニア、ライラック、サボナリア、リキュウソウ



大きさ・高さだけでなく、ブーケの一つひとつの表情も異なるように束ねると、ばらして飾ったときにも変化が出せる。